



生産終了予定商品

SYSMAC CSシリーズ
FL-netユニット(10BASE-T)

形CS1W-FLN12



推奨代替商品

SYSMAC CSシリーズ
FL-netユニット(100BASE-TX)

形CS1W-FLN22

2005年9月末生産終了予定

推奨代替商品をご利用いただいた場合の注意点

推奨代替商品は上位互換し、新しい機能が追加されています。

生産終了商品との相違点

形式	本体の色	外形寸法	配線接続	取付寸法	定格性能	動作特性	操作方法
形CS1W-FLN22							

○ : 完全互換
 ○ : ほとんど変更ありません / 相似性の高い変更
 × : 変更大
 - : 該当する仕様がありません

推奨代替商品の新機能

生産終了予定商品 形CS1W-FLN12	推奨代替商品 形CS1W-FLN22
(1) 伝送速度 10Mビット/秒 (10BASE-T)	(1) 伝送速度 100Mビット/秒 (100BASE-TX) を追加 伝送速度を自動判別し、伝送速度 100Mビット/秒可能です。 また伝送速度 10Mビット/秒固定モード (デフォルト設定) も 設定可能です。
(2) データリンクデータの並び方向指定の機能なし	(2) データリンクデータの並び方向指定の機能を追加 接続機器に応じて、ノード毎にデータリンクデータの並び方 向が指定可能です。これによりラダープログラムでの上位/ 下位バイト入替え処理が不要となります。
(3) 1ノード当りの送信データリンク容量は、領域1と領域2を合 わせて最大7677ワード (7677CH)。 (送受信の最大は8Kビット (512CH) + 8192ワード (8192CH))	(3) データリンクデータの容量アップ 1ノード当りの最大の送信データリンク容量が8Kビット (512 CH) + 8192ワード (8192CH) になりました。 (送受信の最大は8Kビット (512CH) + 8192ワード (8192CH))
(4) 簡易バックアップ機能なし	(4) 簡易バックアップ機能を追加 FL-netユニット内に保存された設定データ (FAリンクテー ブルなど) をCPUユニットのメモ리카ードにバックアップ可能です。 これによりユニット交換が容易になります。
(5) IPアドレス設定 IPアドレス設定はユニット裏面のロータリJSWによる設定も可能	(5) IPアドレス設定 IPアドレス設定はシステム設定エリアで設定します。
(6) 消費電流 DC5V400mA以下	(6) 消費電流 DC5V380mA以下
	(7) 通信コネクタ位置 ユニット前面の通信コネクタの接続位置が形CS1W-FLN12 に比べて25mm下に移動しています。
	(8) 新FL-net設定ツール Ver.1.6 新規機能を使用するにはFL-net設定ツール Ver1.6以降を ご使用ください。

生産終了商品と推奨代替商品

生産終了予定商品	推奨代替商品	標準価格(¥)
形CS1W-FLN12	形CS1W-FLN22	オープン価格